

近鉄郡山駅周辺整備事業に伴う
「近鉄郡山駅移設に関する基本協定」について

令和5年3月2日

大和郡山市

1. 奈良県、大和郡山市、近鉄の三者による「近鉄郡山駅移設に関する基本協定」について

本市では、「城下町の風情を活かし、歩いて健康に暮らすことができるまちづくり」を目指し、県・市で策定した「近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画」（令和元年度）に基づき、駅舎の移設や周辺整備に関する検討を進めてきました。

令和4年度において、県の補助を得ながら、本市が実施した概略設計を基本として、近鉄を加えた三者で事業推進の枠組みを決めるための協議を精力的に進めてきた結果、

近鉄郡山駅の移設に関し、役割分担や費用負担といった事業推進の基本的な枠組で合意に至ったことから、令和5年2月3日に基本協定を締結したものです。



<基本協定の主な内容>

- ① 駅の移設〔鉄道施設の整備〕は近鉄が施行する。
事業費は、国庫補助額を除いた費用について、**県・市・近鉄の三者で均等に負担する。**
- ② 駅前広場・自由通路などの駅周辺施設〔都市施設の整備〕は、市が施行する。事業費は、国庫補助を活用する他、**奈良県のまちづくり連携協定制度に基づく奈良県の補助**について個別協定を締結。
- ③ 現駅舎の解体撤去については、②によらず、国庫補助を除いた費用について、**県・市で等分負担する。**

2. 新駅舎と駅周辺の整備イメージ

駅移設・橋上駅舎化による効果

- ・ 駅周辺の歩行者・自転車の安全な通行を確保
- ・ 駅東西からの乗降利便性を確保



3. 事業費について

◎全体事業費 100億円強

- ・ 鉄道施設の整備 40億円強
- ・ 都市施設の整備 60億円強

- ※1 国庫補助について、今後、国との協議が必要
- ※2 駅前駐車場の再整備は、今後の検討課題
- ※3 県・市・近鉄の各費用負担額については、国との協議を進め、駅前駐車場の再整備手法を踏まえて議会に報告

4. 今後の予定について

○関係者が連携し、**令和12年度の新駅舎供用開始**を目指して、取組みを推進します。

【現時点での想定スケジュール】

▼令和5年度、令和6年度

- ・基本設計、実施設計に向けた現地調査に着手
- ・近鉄郡山駅周辺整備検討委員会の開催
- ・駅前駐車場再整備の検討
- ・県では周辺まちづくりの機運醸成セミナー等を開催予定

▼令和7年度、令和8年度

- ・基本設計、実施設計

▼令和9年度

- ・工事協定の議案提出
- ・用地取得、仮設工事、発掘調査等

▼令和10年度、令和11年度、令和12年度

- ・新駅舎建設工事
- ・自由通路、デッキ建設工事
- ・新駅供用開始

▼令和13年度、令和14年度

- ・駅周辺施設(駅前広場・駐車場・駐輪場等)整備工事
- ・グランドオープン

※関係者との協議によって、今後変更があり得ます。

5. その他参考資料（再掲）

＜近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画図(令和元年7月策定)＞



＜新駅舎概略図（12月議会報告）＞

